

なんでやねん

発行責任者 岩手県 志

No. 4 5

震災そして台風 自然災害の被害を どう防ぐ 日本の課題

持続可能な社会の課題は、今日に生きる者が解決しなければならない重要なことを私たちに突きつけている。

どうすれば、私たちの行動で、次代の人々に暮らしやすい環境を残せるのであろうか。私たちにできることは何か。何を「がまん」するべきなのだろうか。日常生活の中から自分たちのできる課題を探すことから始めよう。

2016年(平成28年)9月5日(月)

毎 日 新 聞

この資料は、
毎日新聞の記事の
レイアウトを修正
しています。

岩手県宮城町で唯一、太平洋に面する小浜地区の住民が、台風10号による河川氾濫で大きな被害を受けた宮城町山間部への支援に動いている。

岩手・岩泉町

2011年3月の東日本大震災で死者を出した漁師まち。「15年半前に受けた町民からの支援に恩返しを」が合言葉だ。

【日本書】

震災支援 恩返し

台風10号で山津波 漁師まちから物資



「まだ語り継いでいる」。小浜地区にある津波被害センターにボランティアのひとりが語りだす。センターは、小浜地区の住民に、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。小浜地区は、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。小浜地区は、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。

岩手県宮城町で唯一、太平洋に面する小浜地区の住民が、台風10号による河川氾濫で大きな被害を受けた宮城町山間部への支援に動いている。

岩手・岩泉町

2011年3月の東日本大震災で死者を出した漁師まち。「15年半前に受けた町民からの支援に恩返しを」が合言葉だ。

【日本書】

「まだ語り継いでいる」。小浜地区にある津波被害センターにボランティアのひとりが語りだす。センターは、小浜地区の住民に、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。小浜地区は、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。

岩手県宮城町で唯一、太平洋に面する小浜地区の住民が、台風10号による河川氾濫で大きな被害を受けた宮城町山間部への支援に動いている。

岩手・岩泉町

2011年3月の東日本大震災で死者を出した漁師まち。「15年半前に受けた町民からの支援に恩返しを」が合言葉だ。

【日本書】

流木かき分け捜索

「まだ語り継いでいる」。小浜地区にある津波被害センターにボランティアのひとりが語りだす。センターは、小浜地区の住民に、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。小浜地区は、小浜地区の歴史や、小浜地区の現状を伝える役割を担っている。

岩手県宮城町で唯一、太平洋に面する小浜地区の住民が、台風10号による河川氾濫で大きな被害を受けた宮城町山間部への支援に動いている。

岩手・岩泉町

2011年3月の東日本大震災で死者を出した漁師まち。「15年半前に受けた町民からの支援に恩返しを」が合言葉だ。

【日本書】



【宮城九、野田町、近藤加加】